

第7回九州CT研究会・九州CTフォーラム開催報告

平成27年5月30日（土曜日）に、北九州国際会議場にて、第7回九州CT研究会・九州CTフォーラムが開催された。今回のメインテーマは、「CT検査の最適化」と題して、低管電圧撮影と逐次近似再構成に着目して開催した。今回はいつもの福岡ナースプラザではなく、北九州国際会議場での開催で、機器展示も企画されたこともあり、参加総数316名と大変盛り上がった大会であった。また、研究会企画として、「データ管理シンポジウム」も開催した。

メインテーマの特別講演には、低管電圧撮影については、熊本大学大学院生命科学研究部・医療技術科学講座・医用理工学 教授 船間芳憲先生に、逐次近似再構成については、東北大学病院診療技術部放射線部門 佐藤和宏先生にご講演をいただいた。CT検査の最適化において、低管電圧撮影と逐次近似再構成という組み合わせが選択されるが、それぞれの特性や効果を把握することが重要で、目的にあったパラメータの選択が重要であるといった内容であった。

データ管理シンポジウムは、熊本大学医学部附属病院 中央放射線部 枋原秀一先生に最新の医療情報管理についての講演をしていただき、山口大学病院、熊本中央病院、2施設に施設発表をしていただいた。CT画像はPACSに送られるデータ量も多く、1mmスライスの画像を活用するためには、システム構築に工夫が必要となるために、他施設のシステム構築や運用は参考になった。

今回のメインテーマである、「CT検査の最適化」は、日本における診断参考レベルの観点からも重要な要素と言える。最適化を行うためにも、日常使用している装置の特性を知ることが重要であると改めて感じさせられた大会であった。

最後に、フォーラムを担当していただいたエーザイ株式会社、機器展示していただきました各メーカーに対してお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。今後ともよろしく願い申し上げます。

第7回九州CT研究会・第7回九州CTフォーラム当番世話人
新別府病院 吉武貴康